

パネルディスカツション

パネルディスカツションのテーマは「世界連邦の実現に向けて」。グローバル福祉社会の道を考える」として、平口哲夫(世界連邦石川県連合会理事長)、金沢医科大学教授)が「コードネイターとなり、田中優(未来バンク事業組合理事長・社団法人議院議員秘書)、土井香苗(国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター)、弁護士)、各氏に上村氏が加わって意見を述べ合つた。写真。平口氏は「戦後生まれの若い人たちにパネル討議をしてもらおうと計画した」と述べた。

環境問題が大きく関係する  
田中氏は「今日世界で起き

ている紛争の原因是、宗教や民族の違いよりも石油や天然ガス、パイプライン、地下鉱物、水など地下資源の争奪が起因している。石油需要は増大する一方だが、地球上の油田は発見し尽くされ、埋蔵量はピークを過ぎてしまった。欧米では自然エネルギーに早く切り換える方向へ進んでいる。世界で使われている軍事費を全部地球環境対策に回せねば、このうちの財産が軍事に回されるのではなく、国際的にまとまり、自分たちの地域のために使われる良い方向に仕組みを切り換えていかなければならない。世界連邦運動は、平和問題とともに環境問題も大きく関係している」と呼びかけた。

憲法九条は人類の共有財産

勝見氏は「グローバル・ガバナンス確立への道筋として人間の安全保障を考えた。国家が推進している人間の安全保険に派生して『保護する責任』という概念が出てきた。日本政府が自国民を守る義務がある。それを果たせない、あるいは果たす意思のない場合は国際社会全体が保護の責任を負う」という考え方で、これは国際的に認められつつある。保護責任の対応には予防(国際裁判所=ICC)、対応(国際緊急平和部隊=UNEPS)、再建(地方復興支援部隊)の

日本政府は本腰を入れよ

土井氏は「2009年に起きた紛争の中で、スリランカとガザを取り上げてみる。スリランカは5月に政府軍が反政府軍を武力制圧したが、病院を攻撃したり、少数民族の人間に楯を使ったり、紛争が終わっても反対派を強制収容所に入れていた。残虐行為があり、多くの死者を出した。ガザでは国連の学校や医療品を收めた倉庫や市街地が爆撃されている。残虐行為があり、人々がパネル討議をしてもらおうと計画した」と述べた。

◎橋爪義守氏が逝去

日本はICCに加盟したけれど本腰を入れた行動を見せないなどと話した。

◎安田隆明氏が逝去

連元副会長の安田隆明氏が昨年(2009年)7月20日逝去、92歳。石川県副知事、参議院議員、科学技術庁長官を務めた。9月7日のお別れ会に世連石川から弔電と金子嘉久事務局長が参列した。

◎橋爪義守氏が逝去

連相談役の橋爪義守氏が昨年8月14日逝去、84歳。石川県議5期、世連石川事務局長を長年務めた。

## 「歩みを止めてはいけない」山金沢市日本大会開く

本大会金沢2009(世界連邦推進日本協議会主催)は、さる11月22日金沢市文化ホールで約六百人が参加して開かれた。金沢で全国大会が開かれるのは43年ぶりで3回目。

杉山栄太郎大会実行委員長(世界連邦石川県連合会長)が開会挨拶を述べたあと、稻垣裕彦世界連邦宗教委員会代表の主唱により世界連邦運動の物故者や

牲者に默祷を捧げた。四方八方に勝る福祉はない」と熱く訴えた。石川県音楽文化協事(代理杉本勇寿副知事)と山出保金沢市長が来賓あいさつをした。山出市長は「今夏、金沢で中東和平プロジェクト・イン金沢を行い、価値ある体験をしてもらった。金沢の町は初代加賀藩主前田利家以来、今日に至る四百二十年間戦争がない平和都市である。昭和32年に世界連邦平和都市宣言、60年には核兵器廃絶平和都

市宣言を行っている。道は遠くとも歩みを止めてはいけない。平和に勝る福祉はない」と熱く訴えた。世界連邦運動が各市町村に根づいてほしい」とあいさつ、地元の石川県知事(代理杉本勇寿副知事)と動が市町村に根づいてほしい」とあいさつ、地元の石川県知事(代理杉本勇寿副知事)と演奏されたあと、上村雄彦浜市立大学准教授の基調講演(要旨は1面)があり、次いでパネルディスカツションが行われた。大会宣言は荻野忠則起草委員長から提案され、拍手で

採択された(要旨は別掲)。会参加者有志による懇親会は、金沢二ユーログランドホテルで約70人が参加して開かれた。2010年の第29回世界連邦日本大会は北海道札幌市で10月22日に開催される予定。△

第28回世界連邦日本大会の(要旨)

市宣言を行っている。道は遠くとも歩みを止めてはいけない。平和に勝る福祉はない」と熱く訴えた。世界連邦運動を解消するには、グローバル・ガナンスが必要です。国際連帶税が日本において実現されれば画期的なことであり、世界連邦構想を肉付けします。ひきづき国際連帶税を推進する市民の会等とともに邁進せん。世界で唯一の被爆国であり世界平和を国是とする日本は、人類共生の未来を切り拓くために、世界連邦実現の先頭に立たなければなりません。

◎中東和平プロジェクトin金沢ひらく世界連邦宣言自治体全国協議会が主管するパレスチナ・イスラエルの紛争等による遺児らを招く「中東和平プロジェクトin金沢」が、2009年7月30日から8月5日まで金沢市を中心開催された。これまでに京都府綾部市を皮切りに岡山市、徳島市、小金井市で開かれ、金沢市は5都市目。パレスチナ・イスラエルから各5人の高校生が来日、金沢市内でホームステイや市内見学を楽しみ、石川県女性センターの市民交流会では地元金沢市弥生小学校、小将町中学校、伏見高校生らとメッセージを交換し合った。山出保金沢市長と四方八洲男世界連邦宣言自治体全国協議会長が来賓あいさつ、ヒシャム・ナサール駐日大使が来日パレスチナ常駐総代表部一等書記官とニシム・ベンシトリット駐日本大使も出席し、遺児らの招待に謝意を表すとともに「遺児らが日本に学ぶことができるとはそばらしい」「恒久的に安全と平和の中に暮らしたい」とそれぞれスピーチした。イスラエル大使も出席し、遺児らの招待に謝意を表すとともに「遺児らが日本に学ぶことができるとはそばらしい」「恒久的に安全と平和の中に暮らしたい」とそれぞれスピーチした。世界連邦運動石川県連合会は、11月1日の世界連邦日本大会を控えた同月22日の世界連邦運動石川県連合会の街頭でチラシを配りながら宣伝活動を行った。宮西副会長、平口理事長はじめ会員有志ら17人が出勤し、職を立てて大会への参加を呼びかけた。

◎街頭宣伝活動にも取り組む

世界連邦運動石川県連合会は、11月1日に金沢市香林坊の街頭でチラシを配りながら宣伝活動を行った。宮西副会長、平口理事長はじめ会員有志ら17人が出勤し、職を立てて大会への参加を呼びかけた。

◎安田隆明氏が逝去

連元副会長の安田隆明氏が昨年(2009年)7月20日逝去、92歳。石川県副知事、参議院議員、科学技術庁長官を務めた。9月7日のお別れ会に世連石川から弔電と金子嘉久事務局長が参列した。